

めばえ通信

通巻 335 号
令和 6年 1月 26日
発行/こども発達センターめばえ

“幸せを感じられる毎日を願って今年も始まります”

このたびの能登半島地震被害に際し、被災地の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。
大変な生活が続いている報道に心が痛む毎日です。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

新年が明けて、子ども達の元気な姿に、当たり前の生活が継続される毎日を改めて感謝し、
子ども達やご家族の皆様にとって安心して楽しく生活や活動ができる場である環境を整えてい
きたいと思っています。

6月号の紙面にて、“我がこと”としての備えと題して、日頃からの備えについて触れましたが
ある研修会の中で、『おうち防災訓練』という提案がありましたので紹介します。これは、災害
時のライフラインの遮断を想定し、ご自宅にて水道・ガス・電気の利用をしない生活体験をする
いうものです。ごはんは？トイレは？何をして過ごす？TV や YouTube も電源がなければ使用
できません。当たり前の日常生活がある時だからこそ、安心して様々なお試しができるのではないか
でしょうか。限られた環境の中での生活体験を通して、災害時の備えをより各ご家庭に合わせ
たものにする機会の一つにしてみてはいかがでしょうか。

さて、年度末に向けて子ども達は生活に安心感を高めいろいろなことに挑戦することが増え、
様々な変化がみられる時期となります。今私達は、クラスやグループ職員の枠を超えた職員間で、
保護者の皆様と作成した個別の療育計画をもとにお子さんの姿の振り返りをしています。その
中で、成長を丁寧に確認し合い、更なる大切にしていきたいことを確認や共有しています。嬉しい
報告がいっぱいのカンファレンスです。そしてこれらを保護者の皆様にもご報告し、保護者の
皆様と子ども達の成長を喜び合ったり、今だからこそ又次年度の新たな環境に向けての挑戦に
ついてもご相談したりしたいと思っています。個別面談もその一つとなりますが、毎日通園では
保育参加日を、親子通園や並行通園等のグループ療育ではご利用時のお話の場面を活かして
いきたいです。たくさん、お子さんのお話をさせてください。そしてどうぞ、ご家族にもお伝えいた
だき、お子さんの成長をご家族皆様で喜び合っていただきたいです。その内で新たな心配事が
生まれてくるもあります。そんな時こそ職員にお伝えください。お子さんの次へのステップをじつ
くり考えるチャンスです。お待ちしています。

今年も子ども達、ご家族の皆様、職員皆が幸せを感じられる一年となることを願って、どうぞ
よろしくお願ひいたします。

こども発達センターみなみめばえ 所長 森田紀子

『ほめるに値する自分』を感じるために

今年度も残すところ2か月となりました。この時期は、卒園や進級にむけての準備が本格的になってくる時期でもあります。保護者の皆さんにとっても、お子さんの成長を喜ぶ気持ちと同時に、新たな環境に身を置くお子さんのが心配でもあると思います。新しい世界で、心が動くような出会いや発見とともに、初めて向き合うことになる“ハードル”にも出会うことでしょう。



毎朝聞いているラジオのパーソナリティーの話が、ふと耳にとまりました。

「小学校の時って鉄棒のテストがあるじゃないですか。それが本当にいやで、なんでやらなきゃいけないんだって思ってました。練習してもできるようにならないし。結局一回も逆上りは成功しなかったんですけどね(笑)」

子どもの頃には“大人になったらあまり必要ないこと”を頑張らなきやいけない機会がけっこうありますよね。大人になった今なら『逆上がりができなくたって生活に影響はない』とわかるから笑って“できない自慢”ができるし、苦手なことは別の方法でクリアしたり、回避したりするすべも持っています。でも、子どもの時にはどうだったでしょうか。一斉に同じ課題が出され、一律に定まっている“合格点”を獲得しなければいけないと思って、必死で頑張りませんでしたか。うまくできることや苦手なことに真正面から向き合い、“できない自分”と向き合うこともあったかもしれません。

「やりたくない！」をひととく

① Aくんのエピソード

Aくんはリズム（音楽に合わせて体を動かす活動）が大好きな3歳児。年度前半には、ほかのクラスからリズムの音が聞こえると、クラスから飛びだして参加したり、交代でやる時には自分の順番を待ちきれないほど、積極的に参加していました。Aくんは身体使いが不器用なところがあり、動き方は自己流です。それでも、臆することなく参加していました。

年が明け1月になり、リズム発表会にむけての練習が本格的にスタートしました。歩いたり、走ったりする単純な動きはニコニコと参加します。でも『かめ』や『あひる』の複雑な動きになると「いや、やらない！」と、先生に誘われてもやろうとしません。指をくわえて、浮かない表情です。今までやっていた（できていた）ことをやらなくなつたのはなぜでしょうか。

② 発達の視点で考える

子どもは2～3歳の発達段階になると、ものごとを「大一小」というように、対比してとらえるようになります。目には見えない『抽象的な概念』を獲得していきます。対比してとらえるのは数量だけではありません。自分が「できるーできない」ということも感じたり、「いいーわるい」という対比ができるようになることで『ルール』がわかり、それを守ろうという意識が生まれていきます。

みんなと一緒にことをやらなきやいけないことはわかっています。でも、自分の中で「得手ー不得手」がわかってきたAくん。さらに、自分と他者（ほかの子）と比べる力がついたことで、「自分がみんなと同じようにできるかもしれないーできないかもしれない」ということに気がつきはじめ、揺れ動く心や葛藤が生まれたのではないでしょうか。

③ 『できない自分』を乗り越えるとき

「比べる力がついた子ども達は、思い通りではない自分の現実や他者との葛藤と向き合うことになります。(中略)子どもはいつも、『よくなりたい』と願っています。その願いと現実の自分との『ずれ』を意識しつつ生きているのです。このずれが大きくなる時には、感情が高ぶったり、甘えや(中略)こだわり、癖が現れたりします。大人はそれらを見て、困ったことだと思ってしまいますのですが、そんな時子どもも、自分への『情けなさ』とともに生きているのです。大人は(中略)視点を転じて、高いハードルと向き合う心の側に立ってみましょう」(『発達を学ぶ小さな本』白石正久著より引用)

指をくわえて見ていたAくんでしたが、そっと先生のそばにいき、さっきみんなと一緒ににはやらなかった『あひる』のポーズを担任の先生の前で披露しました。先生もすぐに気づいて「すごい!かっこいい!」とほめます。そして、「せんせいと一緒にやる?おんぶでもいいよ」と声をかけました。すると、うれしそうに先生におぶわれ、みんなの輪に入ったAくん。少し先生のおんぶでやった後、自分から背中をおり、みんなと一緒にリズムに取り組みました。

『自分と向き合う心』を支えるために

Aくんは、『できない自分』に向き合いながらも、自分で“よき終わり”にしようとしました。そしてそれを支えたのが、先生の存在です。リズムへの取り組み方はみんなと同じではなかったかもしれません、先生はAくんが自信をもって参加できるタイミングを待ってくれました。Aくんの心に「できないかもしれないけど、できるかもしれない」という自分を信じる気持ちが垣間見えたからだと思います。苦手なことから目を背け、やらないことを選択するのは簡単なことかもしれません、Aくんの心の中にある『よくなりたい』という発達の願いが、先生の温かいまなざしのことで、自分の心と向き合うことをやめず、“よき終わり”にする方法を見出したと思います。

自分の心と向き合い葛藤している子どもは、指吸いや爪噛みなどの癖がでたり、園に行くことやクラスの中にいるのを嫌がったりすることがあります。時に、できない自分にふがいなさを感じ、自分を傷つけてしまう子もいます。その行動の裏で自分の心と向き合い、子どもなりの“おとしどころ”を見つけようとしている子どもの必死のがんばりを、私はとても健気でいとおしく感じ、心の中でエールを送ります。そして、支援者として『よくなりたい』を叶えるために必要な技術や環境の工夫、大人の関わり方を、発達や身体使い等専門的な視点で提案していきたいと思っています。

「行動の善し悪しではなくて、心の中のがんばりを認めてくれる人間関係の中で、子どもは自分がんばりを心にきざみ込んでいきます。子どもは『ほめるに値する』自分を自分でつかみとろうとしているのです。」(『発達を学ぶ小さな本』白石正久著より引用)

今年は60年に一度の「甲辰(きのえたつ)」の年。「芽吹いたものが、確実に実を結んでいく」という意味があるそうです。「できた」で終わることばかりではないけれども、自分の心に向き合った頑張りが、『ほめるに値する自分』の手ごたえになりますように・・・。

こども発達センターめばえ
高柳 阿季



感染症に注意しましょう

インフルエンザや咽頭結膜熱、感染性胃腸炎等が流行しています。手洗いや手指消毒、換気等を行うと共に、体力をつけるために十分な栄養と睡眠を心掛けましょう。少しでも体調不良が伺えた場合には、無理して登園をしないで御家庭で静養しながら様子をみてください。

〈インフルエンザ〉

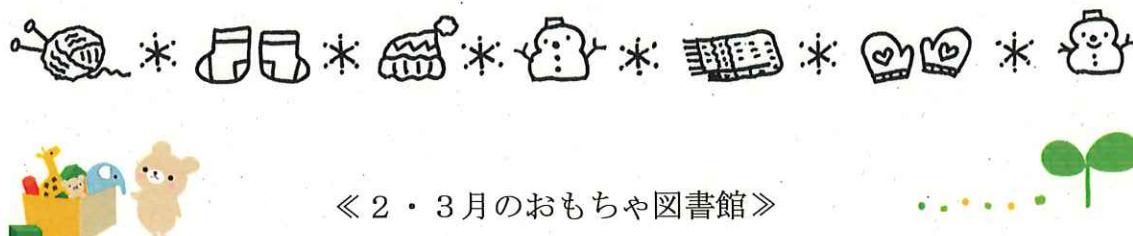
例年11月下旬頃から流行し始めますが、今年は流行が早くから始まり現在も続いています。発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感等の症状が急に現れるのが特徴です。

〈咽頭結膜熱〉

11月頃から過去最多を更新し、全国で警戒レベルとなっています。アデノウイルスが原因です。主な症状は、発熱、のどの痛み、結膜炎等の症状です。

〈感染性胃腸炎〉

原因となる病原体には、ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルスや細菌もあります。主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢、発熱、腹痛等の胃腸炎症状です。



『2・3月のおもちゃ図書館』

菊川おもちゃ図書館あそば
会館場所：プラザけやき
児童館あそばの部屋
2月10日（土）/3月9日（土）
10:00～11:30 13:30～15:00
連絡先：0537-37-1135

掛川キューピーおもちゃ図書館
会館場所：掛川市総合福祉センター
1階西側 Myラボ
2月18日（日）/3月17日（日）
10:00～12:00 13:00～15:00
連絡先：0537-22-1309

発行者・お問い合わせ／こども発達センター めばえ

TEL) 0537-23-2312 FAX) 0537-23-0008

ホームページもご覧ください。

E-MAIL) htc.kodomo40@globe.ocn.ne.jp



2月の予定



2月			心理 O T	バス ○14:30 発 △13:00 発
1	木			△13:00
2	金	節分会	心理じやが	○
3	土			
4	日			
5	月			○
6	火		OT びい じや	○
7	水			○
8	木	保護者参加日：全クラス (クラス懇談・保護者役員決め)		△13:00
9	金			○
10	土			
11	日	建国記念の日		
12	月	振替休日		
13	火	個別面談週間（～3/1まで）		○
14	水			○
15	木			△13:00
16	金			○
17	土			
18	日			
19	月			○
20	火			○
21	水			○
22	木	保育参加日		×
23	金	天皇誕生日		
24	土			
25	日			
26	月			○
27	火			○
28	水			○
29	木			△13:00

お知らせ

○節分会 2日（金）

今年もめばえに鬼がやってきます。元気いっぱいな子ども達のパワーで鬼退治を楽しみたいと思います。

○保護者参加日について

全クラス8日（木）にクラス懇談・保護者役員決めを行います。時間帯につきましては、また後日連絡いたします。

○個別面談週間について

2/13（火）～3/1（金）

日程については、別紙をご確認ください。

3月の予定

2/13日（月）～3/1日（金）

個別面談週間

3/7日（木）保育参加日

15日（金）～22日（金）

短縮日課：13時降園

25日（月）卒園式（年長児のみ）

26日（火）修了式（年中少児のみ）

